

# RUNE MAGIC

An ancient way to  
initiation and of  
harnessing psychic  
powers taught by a  
European  
Rune Master

# UR

URは、神聖ファザルクの2番目のルーンです。FAのルーンが、あらゆる父神に関連していたのに対し、URは、あらゆる母神に関係があります。また、URは、ヒーリングのルーンであり、原因のルーンでもあります。

## URのボディ・ポジション：

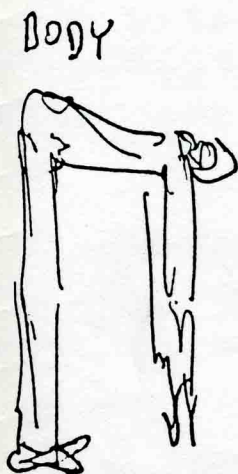
前屈し、手の先を床の方へむける。(もしくは、床に触れる)

## URのハンド・ポジション：

バリエーション (a) 手を下に垂らし、親指と残りの指でURをかたちづくる。

バリエーション (b) 左手をあげ、指でURをかたちづくる。

両方のバリエーションを実践し、エネルギーの流れを感じてください。



## ヒーリング（治療）、魔術、 そして、UR

魔術は、高次自我に到達し、キリスト意識を実現し、神と一体化するための最短路であります。魔術師は、この惑星上の人類の多くが高次の存在となるために何千回もの転生を繰り返すのに対し、数少ない転生で、それを実現すべく努力します。この過程において、魔術師は、主な手段として、例えばルーンのような宇宙の創造的な力を伴ったアクティブなワークをおこないます。

現在、私達の惑星は、進化のかなり低い段階にあり、人類は、惑星全体のカルマ的なテストに失敗する寸前にきています。このぎりぎりの時において、成功するか失敗するかにより、あらたな時代の始まりと発展のありさまが、そして、あらたな時代のこの惑星のカルマが決定されます。したがって、いままで以上にヒーリングが必要になってきます。しかも、人類全体がカルマ的なテストを乗り切り、あたらしい時代に霊的進化のはしごをより高く昇れるように、惑星全体のヒーリングが必要なのです。我々のすべてが人類という種に属していることから、集積したカルマを清算し絶対的な成功に貢献することは、各自に責任のあることであるといえます。いいかえれば、”癒す”ことは、我々が簡単に放棄することができない責任といえるでしょう。

惑星次元の変化をもたらすために、また、私達の惑星の真の治療のために、創造のレベルにおける活性化が必要です。これは、少数の力ではなく、おおくの人の力によりなすとげられます。

しかし、残念なことに創造の作業場におけるツール（道具）やそれ

らを適切に使用するための責任について気づいている宗教は少ないのです。ヒーリングの必要性については、いくつかの指示がのこされていますが、それらの多くは歪められ、個人がこの惑星のネガティブカルマの清算にいかに関与するかという実践的な指示というよりは、あらたな時代についての宗教的なドグマへと変貌しています。これらのグループのとっている手段はかなり制限されたもので、たとえ彼らが、積みも積もったネガティブ・カルマを浄化し、わたしたちの惑星に救いをもたらそうとする誠実な意志をもっていたとしても、彼らが私達の惑星のカルマに与える好影響は微々たるものです。

長い間、世界平和とこの惑星に住むすべてのものがよりよい状況になるように努力してきた宗教組織の失敗を責めるかわりに、いま私達は、このような失敗の原因が創造の真のツールにたいする無知にあることを認識しなければなりません。これらのツールは、私達の創造主から託されたもので、それを使い、私達は、私達の惑星同様、私達自身の運命を支配することができます。しかし、まだ私達は、これらのツールを無責任に使ったりしており、しかもほとんどの人々は、その存在すら知らないのです。

ルーン URの歌を注意深くよんでください。そうすれば、あなたのあらゆるレベルのヒーリングについての理解はよりいっそう深まるでしょう。

また、URのプラクティスにより、なぜ、人間の思考から母神の原理を除いてしまうと創造の作業場のツールにアクセスすることができないのか理解することができます。このことは、ギルガメッシュ神話、アダムとイブなどの古代の神話から学ぶべき課題でもあります。

URのプラクティスを通し、あなたの理解は広がり、あらゆる父神同様あらゆる母神の概念にあなたという存在がみたされるまでになります。

## マジカル・ダイアリー

### (魔法日記)

魔術師にとって日記は、必需品です。その日記のなかにあなたの進歩において重要とおもわれるステップについて、また、ビジョン、儀式とその結果などを記入します。魔術をおこなうことを決定したときにはいつでも、実際におこなうまえに日記に次のことを記入します。

1. 目的の詳細
2. 時期
3. もちいる手段 (魔術の種類など)

e t c .

儀式 (魔術) 後には、まず儀式中に受けた印象など、こころを横切ったものは、どんなことでも記入します。その後で、儀式の成果、結果、できれば批評などのコメントをかきとめます。

自己の技術の向上のためにマジカル・ダイアリーが非常に有効なツールのひとつであることは、簡単に理解できることとおもいます。また、ダイアリーには、トレーニング中にえた洞察、象徴的な夢など、霊的向上に関係があるとおもわれるものは、どんなことでも記入してください。

あとになって、初期のころどのように考えたのかがわかり、とるべ

き手段や向上に関連したヒントをえることができます。それにより、あなたの進歩は、よりはよくなり、より効果的にすすむことになりま

す。

もちろん、この日記は、魔術師でないひとのてに渡してはいけません。その理由は、明白です。過去の魔術師は、日記をかくために暗号を使用しました。それは、偶然に日記を読んだ人が、自分の理解できない力を不注意に試し、そのひと自身や第三者に危害がおよぶのを防ぐためです。

## URによるヒーリング

後々のテキストで、様々な目的のためにルーン・エネルギーを伝達する詳細な方法を学びます。このテキストにおいては、ヒーリング（治療）のためのエネルギーについての最初のおしえを学びます。つまり、あなたは今、時間と空間で構成される物質的世界へルーンの創造的なエネルギーを顕現させる入口に立っているのです。ヒーリングの効果は、他人においてはルーンを信じるかどうかにかかわりなくあらわれます。

いまいちど、明確にしておきたいことは、私達は多くの”理論”をもちいて、あなたに教えることはひかえているということです。ここで私達は、普通とは、異なったレベルでの体験をさせようとするのです。私達、つまり、ルーンマスター、ナイト、学徒にとり、重要なのは、その方法が有効であるかどうかです。ことばをかえれば、人間のつくった論理に照らして受け入れるかどうかをきめるのではなく、”有効であること”がその方法をうけいれるかどうかの判断規準である

わけです。

このテキストでは、ルーン、なかでも特にルーン URを用いた視覚化を利用した方法を学びます。この方法によれば、しずかな場所であればどこでも、もし必要であればあまり静かでなくても、ヒーリングを行なうことができます。

この方法は、ルーンに同調すること、エネルギーをひきよせること、視覚化によりそのエネルギーを伝達することの3つからなりたっています。

この技法の欠点は、特に魔術道具を使用しないことにあります。つまりねメンタルなもののみによっているわけです。そのため、この技法は、物質レベルにおける道具、例えばルーン板のような、を用いる他の技法ほど効果的ではないかもしれません。

訓練のこの段階において、純粹に”メンタル”な技法をつかうことは、あなたにとりいくつかの有益な点があるからです。そのことについては、あとになって理解されるでしょう。

初心者にとって、視覚化による技法では、あまり多くのルーン・エネルギーをとりこむことができないかもしれません。しかし、しだいに多くのエネルギーを利用できるようになるでしょう。

## ヒーリングの手順

### 1. 内部ルーン領域にはいる

2. ルーン URの視覚化
3. ルーンからエネルギーをひきよせ、自分の体内に導く
4. 人物（あなたがヒーリング・エネルギーでたすけを与えようとかんがえている人）を視覚化
5. ルーン・エネルギーを視覚化することにより、対象となる人にエネルギーをおくる
6. 作業の終わりに、内部ルーン領域から通常の世界に戻る

## 解説

1. 1冊目のテキストに示されていたようにしておこなう。テープを利用してかまわない。
2. あなたの内部ではなく外部に自ら光りを放ち、その中に生命がやどっているように脈動している、ルーン URを視覚化します。これは、肉体的な目でみるのではなく、あなたの周囲の空間のある点に存在していると知ってください。

この視覚化したルーン URは、時空の概念をこえ、あなたと創造のルーン領域をむすんでいるのです。

自分自身が、ルーンと連結しており、エネルギーの流路は、あなたとルーンの間にはひらかれていると思ってください。

3. ルーンからエネルギーが、（流路をとおして）体内にながれこみます。エネルギーの供給は、つきることがありません。いきを吸い込んでいる間、エネルギーを吸引してください。
4. あなたがエネルギーを放射したい人を視覚化。あなたから、その人への流路を視覚化。もし、その人が同室しているのであれば、当人に対しただ、あなたからその人への流路をイメージするか視覚化すればよい。



5. ここで、息を吐きながら、ルーン URのエネルギーをあなたのからだから、対象となる人物へ押し流します。あなたがそれをするのに気持ち良く感じられる限り、エネルギーをとり入れ、放射する過程を繰り返してください。おそらく、5分から15分程度の間でしょう。
6. あなたが作業を終える時、吸引と伝達の視覚化をやめ、こころの中でルーンにエネルギーを送ってくれたことに感謝し、創造の領域へ送りもどしてください。また、あなたの体内の過剰なエネルギーは、足をとおして、地中に戻っていく有様を視覚化してください。そして、あなたのまわりの物を意識的に認識することにより、ルーン領域とのつながりを断ってください。つまり、通常のあなたのまわりの状況を見、また、意識的に注意深く、周囲の日常のおとに耳を傾けてください。そうすることにより、スムーズに日常の知覚、意識にもどります。

## 今回のエクササイズ

1. マジカル・ダイアリーの準備
2. オーディンのルーンの歌とマジカル・ポエムをマジカル・ダイアリーに筆写する。
3. マジカル・ダイアリーの中に自分のルーン領域の描写をしるす
4. ルーン URの歌を儀式書に書き写す。
5. ルーン URの歌を1日1回同じ時間に唱える。
6. URをもちいてのヒーリングの実践。
7. URのマントラ (" o o - o o - o o - o o - r - r - r - r - r ") をハンド・ポジションをとりながら詠唱する。
8. 最低10日間の実践の後、URのルーン実践での体験などを記し、

プロGRESS・レポートを提出する。

## ルーン UR の 歌

UR-今日、私は、原因を見抜く力を強化する。

UR-私が知る第二の歌、癒しの手をおこなう

人の子にたいそう役立つもの、

それは、病とあらゆる痛みをのぞき、

あらゆる傷を癒す。

UR-今日、わたしは、自分のヒーリング・パワーを強化する。私は  
病の真の原因を認識し、その徴候よりも原因を癒す。

UR-今日、私は、世界のあやまてる運命を癒し、幸運をもたらす力  
を強化する。

UR-今日、私は、すべての物のみなもとへと遡る。あらゆることの  
真の原因へとむかう。私は、永遠なる創造の原初へとむかう。  
宇宙の根源と同調し、私は、母神のルーンとしてURを認識し  
究極の原因へとせまる。URは、私が我が身の内で体験した母  
神であり、私の起源、究極の原因である。

UR-URを体験することにより原初の時、時の原因、永遠の時間の  
の根源と接触する。URにより、私は、不変の今を体験する。

URは、光りの原因であり、本来の生命力、最初の光りのみ  
なもと、永遠なる未来の根本、永遠の生命の原初の源、創造の根  
源、すべてのものの母である。

UR-今日、私は、自らの真の核を体験する。

UR-今日、私は、ルーン領域の中核、創造の領域の中心へ到達する

UR-日々のルーン詠唱の習慣は喜びであり楽しみながら実習する。

実習することは、私は、生命の最奥の神秘へのアプローチであ  
り、その神秘は序々にあかされていく。私は、あらゆる魔術の

秘められた根拠、内なる働きについて深い理解を得る。URによって、すべてのルーン・エネルギーの源と起因についての知識を得る。私は、ルーン・マスターの永遠なる同胞達の中心核と関わりをもっている、かれらは、過去、現在、未来のあらゆる時代のルーン騎士団に豊かな恵みを与えている。いかなる時代、いかなる場所にあるルーン騎士団も、久遠の源泉とつながっており、久遠の源泉は、ルーン騎士団とともにある。

UR-URの実践をとおし、私は、自然と生命の根本法則、内面の働きの法則、自然・生命・運命の原因へと近づくことができる。

これは、言葉を超越した接近である。URを用いた様々な手段により、私は癒される。その癒しは、霊的、心的、情的なレベル、つまり、肉体、意識のあらゆるレベルにおよぶ。URは、私がカルマの治療をする医師であることを認めさせる。わたしは、URにより癒され、新しい生活へと向かう。URは、古傷を浄化し、癒す。URにより、私は、”癒し”を学ぶ。

UR-URをもって、私は、神聖ルーン騎士団のいやしの儀式に参加することになる。すなわち、私は、必要な時にはヒーリング・エネルギーをひきよせ、放射することができるということだ。

UR-ルーンよ、汝は、安定と金銭と富を与えてくれる。今より後、わたしのヒーリング、援助、鎮静の力は、ますます強くなっていく。URの存在により、病気、失望、貧困の根源へと到達することができる。そして、これらの根源を認識することができる。また、URにより、健康、心の平安、富を得ることができ得ることを手助けすることもできる。URは、すべての豊かさをあらわすルーンである。

UR-汝は、あらゆる豊かさを与えてくれる。持続力をも与えることができる。それ故、私は、日々のルーン詠唱を楽しい習慣とし

て持続していくことができる。私は与え、そして、うけとる。

UR-原因の原因、根本の起因たる”たね”なるルーンにより、人生に益となるどんなことにたいしても千倍の報酬を得ることができる。

UR-私はURから力を得、その力を癒すために使用する。

UR-分配、共有のルーン。世界樹の根元を表わすルーン。その根元では、運命の女神達が、運命の糸をつむいでいる。その糸は、すべての根本原因にむずびついている。私は、おおもとを癒すためにその糸をたぐることができる。

UR-私は、世界樹の根とかかわっているため、自己内部のURと接触できうる。このことは、私は、私の内面のURをとおして、すべての物質、すべての生物のURに到達できることを示している。私は、ますます自己を理解する。

UR-URの力により、私は、あらゆる運命の真の起因を知ることができる。URの神秘を掴み、URのなかに存在することにより自分の宿命をかえ、あらゆる点において健康で、平和で、繁栄に満ちたものとすることができる。日に日に私の魔力は、強化され、私は、創造の源泉へと近づいていく。大地の精霊の力が私の中に流れ込み、彼らの力を意識的に用いることができようになる。そして、肉体、心、霊体、魂は、回春を体験する。

UR-世界樹の根は、私の方へと伸びている。私は、”根”から運命をいやすことにより、それを支配する。私は、URにより治療する。URを用いた治癒を経験する。わたしは、世界樹の根である。

UR-世界は、私の中に深く根をおろしている。私は、ルーン詠唱を楽しんでいる。というのも、それにより、あらゆる行動の起因光の起源、すべての出来事の原因、すべての創造の源泉、不動

の”今”のみなもとと因、時の発端を認識できるからだ。起源  
についての経験はますます深くなり、根本原因についての体験  
あらゆる母神についての体験、森羅万象のなかの母神・私の中  
の母神についての体験、私と母神との一体感もますます深まる。

## ルーンのアクセス・キーワード、 意味、照応

UR

宇宙的、または、惑星的な事柄の根本原因のシンボル。根源の時、究極の時、時なき時。起因の起因—根本原因—原初の創造—永遠不滅—バイブレーションの根本

”世界樹、イグドラシルは、URにある

そこでは、3人のノルン達が人々と神々の運命の糸を紡いでいる  
英知の泉が湧き出で

神々が知恵と知識をみいだすためにおりてこられる”

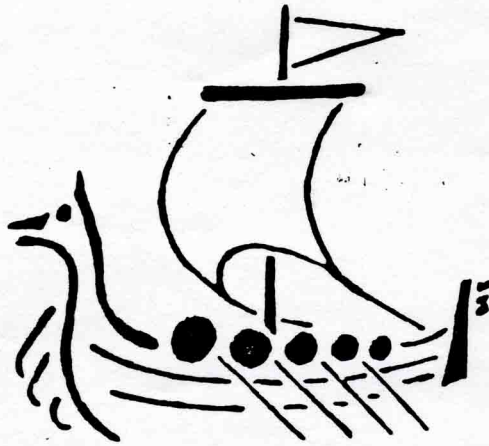
用法：URから常にあらたな存在が生じている。エーテルレベルにおけるヒーリング・エネルギー。透視力の開発。真の原因を認識する力の向上。ヒーリング・エネルギーの強化

時期：1月13日～2月3日

Number：2

タロットとの関連：II 女司祭長

マントラ：uuuuuuurrrrrr



THE SACRED ORDER  
of the  
KNIGHTS of RUNES

発行 KNIGHTS OF RUNES

非売品

© 藤原大立 1987

版權所有



Ʒ Ɔ  
(to help)

Ʒ Ɔ  
(to reframe)

Ʒ Ɔ  
(to heal)

Ʒ Ɔ  
(to win)

Ʒ Ɔ  
(to project)

Ʒ Ɔ  
(to sacrifice)

Ʒ Ɔ  
(to accept)

Ʒ Ɔ  
(to rest)

Ʒ Ɔ  
(ceremonial)

Ʒ Ɔ  
(cosmic law)

Ʒ Ɔ  
(capability)

Ʒ Ɔ  
(spirituality)

Ʒ Ɔ  
(universe)

Ʒ Ɔ  
(roots)

Ʒ Ɔ  
(karma)

Ʒ Ɔ  
(cosmic union)

Ʒ Ɔ  
(true Ego)

Ʒ Ɔ  
(Self, Oneness)